

平成 24 年度は、歴代陸軍参謀総長及び海軍軍令部長の中から毎号一人を取り上げて、戦史研究センター史料室が所蔵するその人物の関連史料を紹介しています。

《 <sup>かなや</sup> <sup>はんぞう</sup> 金谷 範三 1873～1933年 》  
—満州事変勃発時の参謀総長—



### 太平洋問題研究委員会記事

(登録番号：陸軍省-華府会議-T10-1-62)

金谷範三大将は、明治 27 年 7 月、陸軍士官学校（5 期）を卒業、その後、支那駐屯軍司令官、第 18 師団長、参謀総長等の要職を歴任しました。この史料は、大正 10 年 11 月に開催予定のワシントン会議に対する準備のため、「陸軍省及参謀本部ノ関係者ヲ以テ組織セル太平洋問題研究委員会ニ於ケル決議事項ヲ集録」したものです。当時参謀本部第一部長であった金谷少将は、17 名で編成された同委員会のメンバーとして参加しています。太平洋問題研究委員会は、大正 10 年 8 月 8 日から同月 24 日まで 8 回にわたり開催され、軍備制限問題や太平洋問題などに対する陸軍の執るべき態度を決定しています。



### 満州事変作戦指導関係綴別冊其一

(登録番号：中央-戦争指導・重要国策文書-545)

昭和 6 年 9 月 18 日夜半過ぎ、奉天特務機関からの電報により、柳条湖において日中両軍が衝突したことを知った陸軍中央部は、翌 19 日朝首脳部会議を開き、陸軍として採るべき方策について協議しています。この史料には、同日午後、当時参謀総長であった金谷大将が関東軍司令官に宛てた「電第一五号」（昭和 6 年 9 月 19 日）などが収録されています。これによれば、まず「九月十八日夜以後ニ於ケル関東軍司令官ノ決心及処置ハ機宜ニ適シタルモノ」としてその行動を是認したのち、事件処理に関しては「必要ノ度ヲ超エサルコト」との閣議決定もあり、今後軍の行動はこの主旨に則り善処すべしと訓電しています。

### 《お知らせ》

史料保存のためのマイクロ撮影にともない一時的に閲覧できない史料があります。

詳しくは、防研ウェブサイト「お知らせ」をご覧ください。

- ※ 記事に関する御意見、御質問等は下記へお寄せ下さい。なお、記事の無断引用はお断りします。  
防衛研究所企画部企画調整課  
専用線：8-67-6522、6588（史料紹介コーナーのみ6668）  
外線：03-3713-5912  
FAX：03-3713-6149 E-mail：nidsnews@nids.go.jp
- ※ 防衛研究所ウェブサイト：<http://www.nids.go.jp>